

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年11月14日

【四半期会計期間】 第66期 第2四半期
(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

【会社名】 株式会社スズケン

【英訳名】 SUZUKEN CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 太田 裕史

【本店の所在の場所】 名古屋市東区東片端町8番地

【電話番号】 052(961)2331 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 鷲見 守

【最寄りの連絡場所】 名古屋市東区東片端町8番地

【電話番号】 052(961)2331 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 鷲見 守

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

証券会員制法人札幌証券取引所
(札幌市中央区南一条西五丁目14番地の1)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第65期 第2四半期 連結累計期間 | | 第66期 第2四半期 連結累計期間 | | 第65期 | |
|----------------------------|-------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|--------|-------------------------|
| | | 自 至 | 平成22年4月1日 平成22年9月30日 | 自 至 | 平成23年4月1日 平成23年9月30日 | 自 至 | 平成22年4月1日 平成23年3月31日 |
| 売上高 | (百万円) | | 851,800 | | 905,863 | | 1,751,928 |
| 経常利益 | (百万円) | | 9,589 | | 7,138 | | 20,026 |
| 四半期(当期)純利益 | (百万円) | | 5,132 | | 3,279 | | 9,627 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (百万円) | | 3,977 | | 2,902 | | 12,528 |
| 純資産額 | (百万円) | | 279,104 | | 284,979 | | 284,851 |
| 総資産額 | (百万円) | | 848,672 | | 893,996 | | 912,406 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益 | (円) | | 56.93 | | 36.38 | | 106.79 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 | (円) | | | | | | |
| 自己資本比率 | (%) | | 32.9 | | 31.8 | | 31.2 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | (百万円) | | 7,073 | | 12,009 | | 28,336 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | (百万円) | | 12,623 | | 7,609 | | 20,872 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | (百万円) | | 3,671 | | 2,961 | | 10,613 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 | (百万円) | | 62,722 | | 46,180 | | 68,776 |

| 回次 | | 第65期 第2四半期 連結会計期間 | | 第66期 第2四半期 連結会計期間 | |
|-------------|-----|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| | | 自 至 | 平成22年7月1日 平成22年9月30日 | 自 至 | 平成23年7月1日 平成23年9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益 | (円) | | 12.52 | | 21.96 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第65期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、新たに締結した重要な契約は次のとおりであります。

技術援助契約

| 契約会社名 | 相手方の名称 | 国名 | 契約品目 | 契約内容 | 契約期間 |
|-----------------------|--------|----|--------------------------|---|--|
| (株)三和化学研究所 (連結子会社) | 興和(株) | 日本 | 糖尿病治療薬 商品名 SK-0403 | 1 中国及び台湾における独占的 開発、製造、販売権の許諾 2 契約一時金、開発マイルストーン 及び販売ロイヤルティの 支払 | 平成23年8月25日 から各国での発売 後10年間又は基本 特許満了までのい ずれか遅い日、以 後1年毎に自動更 新 |

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社及び連結子会社が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により厳しい環境下にあるものの、一部の業種においては復興需要等により、景気の持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、欧米の信用力低下に伴う円高の長期化や、原子力発電所の停止による国内電力供給の不安など、依然として国内経済の先行きは不透明な状況が続いております。

医療用医薬品市場におきましては、高齢化の進展に伴う生活習慣病関連薬剤の市場拡大や新薬等の発売、また子宮頸がん等ワクチンの需要増により、緩やかながら伸長したものと推測しております。しかしながら、価格交渉の難航や卸間での競争が依然として続いており、医薬品卸を取り巻く経営環境は厳しい状況にあります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は9,058億63百万円（前年同期比6.3%増）、営業損失は3億94百万円（前年同期は23億79百万円の営業利益）、経常利益は71億38百万円（前年同期比25.6%減）、四半期純利益は32億79百万円（前年同期比36.1%減）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

医薬品卸売事業

「医療用医薬品の流通改善に関する懇談会」による「緊急提言」を受け、流通改善に取り組むとともに、平成22年4月に試行的に導入された制度（新薬創出・適応外薬解消等促進加算）の恒久化に向け、引続き個々の医療用医薬品の価値に見合った価格交渉に努めております。

売上高につきましては、市場の伸びに加え、個々のお得意さまのニーズに応える活動を徹底したことにより、順調に推移いたしました。しかしながら、利益につきましては価格交渉の難航や卸間での競争が依然として続いており、厳しい状況となりました。

この結果、売上高は8,630億15百万円（前年同期比6.5%増）、営業損失は52億48百万円（前年同期は23億39百万円の営業損失）となりました。なお、現時点における販売価格の未決定先につきましては、合理的見積価額としております。

医薬品製造事業

主に、東日本大震災への対応のため、3月末における流通在庫が一時的に増加したことにより、年度初めにおいて供給量が一時的に減少いたしました。主力製品である糖尿病食後過血糖改善剤「セイブル錠」につきましても、上記やDPP-4阻害剤の市場拡大等の影響により、売上高は86億48百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

この結果、売上高は319億14百万円（前年同期比6.3%減）、営業利益は20億54百万円（前年同期比34.1%減）となりました。

保険薬局事業

M&Aや新規出店により事業拡大を図るとともに、管理業務の集約化や在庫管理の強化を実施し、業務の効率化に努めてまいりました。

この結果、売上高は369億91百万円（前年同期比10.8%増）、営業利益は19億21百万円（前年同期比87.6%増）となりました。

医療関連サービス等事業

主に、介護事業を営むサンキ・ウエルビィ(株)では、通所・宿泊・訪問の機能が一体となった小規模多機能センターやグループホーム等において利用者数が増加いたしました。

この結果、売上高は111億4百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は4億99百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ184億10百万円減少し、8,939億96百万円となりました。主な要因は、以下のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ205億37百万円減少いたしました。これは主に売上の増加に伴い受取手形及び売掛金が235億49百万円増加したものの、商品及び製品が159億39百万円減少したこと及び東日本大震災への対応に伴い3月末に商品調達を行った結果、その支払額が増加したこと等により現金及び預金が220億88百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ21億26百万円増加いたしました。これは主にシステム投資等により無形固定資産が17億97百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ185億38百万円減少し、6,090億16百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の支払により161億60百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億28百万円増加し、2,849億79百万円となりました。これは主に剰余金の配当により27億94百万円減少したものの、四半期純利益を32億79百万円計上したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結累計期間に比べ165億41百万円減少し、461億80百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、120億9百万円(前年同期比は70億73百万円の収入)となりました。この主な要因は、たな卸資産の減少150億37百万円があったものの、売上債権の増加235億14百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、76億9百万円(前年同期比50億13百万円減)となりました。この主な要因は、有価証券の償還による収入54億円があったものの、投資有価証券の取得による支出70億94百万円、有形固定資産の取得による支出48億71百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、29億61百万円(前年同期比7億9百万円減)となりました。この主な要因は、配当金の支払27億95百万円があったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、28億78百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間における研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要設備の新設について、重要な変更があったものは次のとおりであります。

医薬品卸売事業における宮城物流センターの新設については、完成予定年月を平成23年7月から平成23年12月に変更しております。

なお、新たに確定した主要な設備の新設、拡充、改修、除去、売却等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 374,000,000 |
| 計 | 374,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成23年11月14日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|------------------------------|--|----------------------|
| 普通株式 | 93,949,167 | 93,949,167 | 東京証券取引所 (市場第一部) 名古屋証券取引所 (市場第一部) 札幌証券取引所 | 単元株式数は 100株であります。 |
| 計 | 93,949,167 | 93,949,167 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (千株) | 発行済株式 総数残高 (千株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金 増減額 (百万円) | 資本準備金 残高 (百万円) |
|--------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 平成23年7月1日～ 平成23年9月30日 | | 93,949 | | 13,546 | | 33,836 |

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式総数に対する 所有株式数の割合 (%) |
|---|---|---------------|--------------------------------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(住友信託銀行再信託分・塩野義製薬(株)退職給付信託口) | 東京都中央区晴海一丁目8番11号 | 5,400 | 5.74 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口) | 東京都中央区晴海一丁目8番11号 | 3,830 | 4.07 |
| 日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口) | 東京都港区浜松町二丁目11番3号 | 3,368 | 3.58 |
| 塩野義製薬(株) | 大阪市中央区道修町三丁目1番8号 | 3,306 | 3.51 |
| スズケングループ従業員持株会 | 名古屋市東区東片端町8番地 | 3,192 | 3.39 |
| 別所弘子 | 名古屋市昭和区 | 2,818 | 2.99 |
| 伊澤久代 | 名古屋市昭和区 | 2,206 | 2.34 |
| シービーニューヨーク オープス エスアイシーアーヴィー (常任代理人 シティバンク銀行 (株)) | 31, Z. A. BOURMICH, L - 8070 BERTRANGE, LUXE MBOURG (東京都品川区 東品川2丁目3番14号) | 2,126 | 2.26 |
| エーザイ(株) | 東京都文京区小石川四丁目6番10号 | 1,892 | 2.01 |
| 鈴木慶子 | 名古屋市瑞穂区 | 1,881 | 2.00 |
| 計 | | 30,023 | 31.89 |

(注) 上記のほか、当社が所有している株式3,798千株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合4.04%)があります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------------------|----------|------------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 3,798,300 | | 単元株式数は100株であります。 |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式89,954,200 | 899,542 | 同上 |
| 単元未満株式 | 普通株式 196,667 | | |
| 発行済株式総数 | 93,949,167 | | |
| 総株主の議決権 | | 899,542 | |

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,300株及び議決権の数13個が含まれております。また、「単元未満株式」の欄には、同機構名義の株式9株が含まれております。

2 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式51株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%) |
|----------------|-------------------|----------------------|----------------------|---------------------|--------------------------------|
| (株)スズケン | 名古屋市東区 東片端町8番地 | 3,798,300 | | 3,798,300 | 4.04 |
| 計 | | 3,798,300 | | 3,798,300 | 4.04 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 71,171 | 49,082 |
| 受取手形及び売掛金 | 416,061 | 439,611 |
| 有価証券 | 7,797 | 4,799 |
| 商品及び製品 | 133,987 | 118,047 |
| 仕掛品 | 3,421 | 4,313 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,741 | 1,780 |
| その他 | 39,898 | 35,346 |
| 貸倒引当金 | 3,520 | 2,961 |
| 流動資産合計 | 670,558 | 650,020 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 109,638 | 109,443 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | ² 1,877 | ² 1,267 |
| その他 | 24,692 | 27,100 |
| 無形固定資産合計 | 26,570 | 28,367 |
| 投資その他の資産 | ³ 105,640 | ³ 106,164 |
| 固定資産合計 | 241,848 | 243,975 |
| 資産合計 | 912,406 | 893,996 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 580,776 | 564,615 |
| 短期借入金 | 518 | 523 |
| 未払法人税等 | 3,583 | 2,986 |
| 返品調整引当金 | 448 | 392 |
| 賞与引当金 | 7,314 | 7,059 |
| 災害損失引当金 | 402 | 305 |
| その他 | 12,505 | 11,833 |
| 流動負債合計 | 605,548 | 587,717 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 157 | 142 |
| 退職給付引当金 | 4,796 | 4,582 |
| 役員退職慰労引当金 | 793 | 559 |
| その他 | 16,259 | 16,013 |
| 固定負債合計 | 22,006 | 21,299 |
| 負債合計 | 627,555 | 609,016 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 13,546 | 13,546 |
| 資本剰余金 | 38,899 | 38,898 |
| 利益剰余金 | 246,190 | 246,668 |
| 自己株式 | 12,054 | 12,055 |
| 株主資本合計 | 286,582 | 287,058 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,065 | 4,672 |
| 土地再評価差額金 | 7,003 | 6,995 |
| 為替換算調整勘定 | - | 2 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,937 | 2,320 |
| 少数株主持分 | 206 | 241 |
| 純資産合計 | 284,851 | 284,979 |
| 負債純資産合計 | 912,406 | 893,996 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 851,800 | 905,863 |
| 売上原価 | 770,349 | 826,787 |
| 売上総利益 | 81,450 | 79,075 |
| 返品調整引当金戻入額 | 481 | 448 |
| 返品調整引当金繰入額 | 446 | 392 |
| 差引売上総利益 | 81,485 | 79,132 |
| 販売費及び一般管理費 | 79,105 | 79,527 |
| 営業利益又は営業損失() | 2,379 | 394 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 366 | 360 |
| 受取配当金 | 534 | 465 |
| 仕入割引 | 3,358 | 3,387 |
| 受入情報収入 | 2,238 | 2,350 |
| その他 | 1,013 | 1,201 |
| 営業外収益合計 | 7,510 | 7,765 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 44 | 28 |
| 不動産賃貸費用 | 118 | 116 |
| その他 | 136 | 86 |
| 営業外費用合計 | 300 | 231 |
| 経常利益 | 9,589 | 7,138 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 30 | 47 |
| 貸倒引当金戻入額 | 111 | - |
| 罹災商品補償額 | - | 644 |
| 保険解約返戻金 | 28 | 233 |
| その他 | 273 | 150 |
| 特別利益合計 | 444 | 1,076 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 246 | 668 |
| 減損損失 | 313 | 86 |
| 災害損失 | - | 98 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 189 | - |
| その他 | 290 | 99 |
| 特別損失合計 | 1,039 | 953 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 8,995 | 7,261 |
| 法人税等 | 3,852 | 3,968 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 5,143 | 3,292 |
| 少数株主利益 | 10 | 12 |
| 四半期純利益 | 5,132 | 3,279 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 5,143 | 3,292 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,165 | 393 |
| 為替換算調整勘定 | - | 3 |
| その他の包括利益合計 | 1,165 | 390 |
| 四半期包括利益 | 3,977 | 2,902 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,967 | 2,888 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 10 | 13 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 8,995 | 7,261 |
| 減価償却費 | 4,619 | 5,036 |
| 減損損失 | 313 | 86 |
| 貸倒引当金の増減額（は減少） | 109 | 609 |
| 退職給付引当金の増減額（は減少） | 1,790 | 463 |
| その他の引当金の増減額（は減少） | 370 | 645 |
| 受取利息及び受取配当金 | 900 | 826 |
| 支払利息 | 44 | 28 |
| 固定資産除売却損益（は益） | 215 | 620 |
| 災害損失 | - | 98 |
| 売上債権の増減額（は増加） | 14,383 | 23,514 |
| たな卸資産の増減額（は増加） | 5,929 | 15,037 |
| 仕入債務の増減額（は減少） | 6,875 | 16,242 |
| その他 | 651 | 2,769 |
| 小計 | 11,944 | 10,434 |
| 利息及び配当金の受取額 | 900 | 838 |
| 利息の支払額 | 44 | 28 |
| 災害損失の支払額 | - | 70 |
| 特別退職金の支払額 | 4 | 10 |
| 法人税等の支払額 | 5,721 | 3,849 |
| 法人税等の還付額 | - | 1,544 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 7,073 | 12,009 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | 2,479 | 3,458 |
| 定期預金の払戻による収入 | 980 | 2,951 |
| 有価証券の償還による収入 | 2,898 | 5,400 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 5,580 | 4,871 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 144 | 324 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 4,512 | 3,556 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 5,319 | 7,094 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 1,158 | 1,766 |
| 子会社株式の取得による支出 | 2 | 3 |
| その他 | 87 | 932 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 12,623 | 7,609 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 489 | 2 |
| 長期借入れによる収入 | 150 | 25 |
| 長期借入金の返済による支出 | 338 | 36 |
| リース債務の返済による支出 | 92 | 108 |
| 割賦債務の返済による支出 | 56 | 46 |
| 社債の償還による支出 | 30 | - |
| 自己株式の取得による支出 | 21 | 2 |
| 自己株式の売却による収入 | 0 | 0 |
| 配当金の支払額 | 2,794 | 2,795 |
| 少数株主への配当金の支払額 | - | 0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 3,671 | 2,961 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 12 | 15 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 9,232 | 22,595 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 71,954 | 68,776 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 62,722 | 46,180 |

【追加情報】

| |
|--|
| 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
| (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

| 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-----------|---|----------|-----------|--|---------|-------|---|-----|-----------|-------|-------|-------|--|---------|-------|
| 1 偶発債務 取引先の金融機関からの借入金に対し、債務保証を行っております。 <div style="text-align: right;">30 百万円</div> | 1 偶発債務 取引先の金融機関からの借入金に対し、債務保証を行っております。 <div style="text-align: right;">27 百万円</div> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 のれん及び負ののれんの表示 のれん及び負ののれんは相殺し、無形固定資産の「のれん」として表示しております。 相殺前の金額は、次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">のれん</td> <td style="text-align: right;">3,046 百万円</td> </tr> <tr> <td>負ののれん</td> <td style="text-align: right;">1,169</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><hr/></td> </tr> <tr> <td>相殺後ののれん</td> <td style="text-align: right;">1,877</td> </tr> </table> | のれん | 3,046 百万円 | 負ののれん | 1,169 | <hr/> | | 相殺後ののれん | 1,877 | 2 のれん及び負ののれんの表示 のれん及び負ののれんは相殺し、無形固定資産の「のれん」として表示しております。 相殺前の金額は、次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">のれん</td> <td style="text-align: right;">2,277 百万円</td> </tr> <tr> <td>負ののれん</td> <td style="text-align: right;">1,010</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><hr/></td> </tr> <tr> <td>相殺後ののれん</td> <td style="text-align: right;">1,267</td> </tr> </table> | のれん | 2,277 百万円 | 負ののれん | 1,010 | <hr/> | | 相殺後ののれん | 1,267 |
| のれん | 3,046 百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 負ののれん | 1,169 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <hr/> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 相殺後ののれん | 1,877 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| のれん | 2,277 百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 負ののれん | 1,010 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <hr/> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 相殺後ののれん | 1,267 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">投資その他の資産</td> <td style="text-align: right;">1,058 百万円</td> </tr> </table> | 投資その他の資産 | 1,058 百万円 | 3 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">投資その他の資産</td> <td style="text-align: right;">1,008 百万円</td> </tr> </table> | 投資その他の資産 | 1,008 百万円 | | | | | | | | | | | | |
| 投資その他の資産 | 1,058 百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 投資その他の資産 | 1,008 百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | |

(四半期連結損益計算書関係)

| 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------------|----------|-------|--------|-------|--------------|----|--|--------|------------|----------|-------|--------|-------|
| 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。 | 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。 | | | | | | | | | | | | | | |
| <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">給料及び手当</td> <td style="text-align: right;">30,939 百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">6,797</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">2,136</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">48</td> </tr> </table> | 給料及び手当 | 30,939 百万円 | 賞与引当金繰入額 | 6,797 | 退職給付費用 | 2,136 | 役員退職慰労引当金繰入額 | 48 | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">給料及び手当</td> <td style="text-align: right;">31,369 百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">6,340</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">2,160</td> </tr> </table> | 給料及び手当 | 31,369 百万円 | 賞与引当金繰入額 | 6,340 | 退職給付費用 | 2,160 |
| 給料及び手当 | 30,939 百万円 | | | | | | | | | | | | | | |
| 賞与引当金繰入額 | 6,797 | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付費用 | 2,136 | | | | | | | | | | | | | | |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 48 | | | | | | | | | | | | | | |
| 給料及び手当 | 31,369 百万円 | | | | | | | | | | | | | | |
| 賞与引当金繰入額 | 6,340 | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付費用 | 2,160 | | | | | | | | | | | | | | |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|--|--|
| 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 | 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 |
| 現金及び預金勘定 65,119 百万円 | 現金及び預金勘定 49,082 百万円 |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 3,897 | 預入期間が3か月を超える定期預金 2,902 |
| 有価証券のうち マーシャル・ペーパー等 1,499 | 現金及び現金同等物 46,180 |
| 現金及び現金同等物 62,722 | |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|-----------|-------|
| 平成22年5月10日 取締役会 | 普通株式 | 2,795 | 31.00 | 平成22年3月31日 | 平成22年6月4日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 平成22年11月5日 取締役会 | 普通株式 | 2,794 | 31.00 | 平成22年9月30日 | 平成22年12月10日 | 利益剰余金 |

3. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|-----------|-------|
| 平成23年5月9日 取締役会 | 普通株式 | 2,794 | 31.00 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月7日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成23年11月4日 取締役会 | 普通株式 | 2,253 | 25.00 | 平成23年9月30日 | 平成23年12月8日 | 利益剰余金 |

3. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|-----------------------|-------------|-------------|------------|---------------------|---------|
| | 医薬品 卸売事業 | 医薬品 製造事業 | 保険薬局 事業 | 医療関連 サービス等 事業 | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 799,198 | 10,909 | 33,374 | 8,318 | 851,800 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 11,019 | 23,155 | 0 | 2,400 | 36,575 |
| 計 | 810,218 | 34,064 | 33,374 | 10,718 | 888,375 |
| セグメント利益又は損失() | 2,339 | 3,116 | 1,024 | 485 | 2,286 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 2,286 |
| セグメント間取引消去 | 93 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 2,379 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|-----------------------|-------------|-------------|------------|---------------------|---------|
| | 医薬品 卸売事業 | 医薬品 製造事業 | 保険薬局 事業 | 医療関連 サービス等 事業 | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 850,202 | 9,985 | 36,990 | 8,684 | 905,863 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 12,813 | 21,928 | 0 | 2,419 | 37,161 |
| 計 | 863,015 | 31,914 | 36,991 | 11,104 | 943,025 |
| セグメント利益又は損失() | 5,248 | 2,054 | 1,921 | 499 | 772 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|--------------------|-----|
| 報告セグメント計 | 772 |
| セグメント間取引消去 | 377 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失() | 394 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|--------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益 | 56円93銭 | 36円38銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益(百万円) | 5,132 | 3,279 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | | |
| 普通株式に係る四半期純利益(百万円) | 5,132 | 3,279 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 90,157 | 90,151 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成23年11月4日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額..... 2,253百万円

1株当たりの金額.....25円00銭

支払請求権の効力発生日及び支払開始日.....平成23年12月8日

(注) 平成23年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し支払を行います。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月7日

株式会社スズケン
取締役会御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 平野善得

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 服部則夫

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 加藤克彦

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社スズケンの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社スズケン及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。